

議員12年^{経験} / 福祉士^{社会} / 警察官^{出身} / 沖縄現場主義

挑め、沖縄が変わる。

CHALLENGE OKINAWA
2025 » 2026

暮らしの「現場」から政治をかえる!

1 全ての島の
暮らしを豊かに

2 医療福祉と経済が、
日本一の沖縄へ

3 平和と命、
安全安心を守り抜く

沖縄から日本をかえる

長年の基地移設問題で、私たちは賛成か反対か二者択一を迫られてきました。このためか沖縄は政治対立が激しいと言われ、私たち県民も分断され、苦しめられてきた歴史があると思います。

今回わたくしは、これまでの政治対立にとらわれず、**賛成の人も反対の人も、平和への心をついに、「争う」よりも切磋琢磨し「高め合い」、暮らしや生活の課題に密着した、新しい沖縄の政治**を提案する選挙にできないかと考えております。

平和を想うウチナーンチュの気持ちは皆一緒だと信じています。将来は、米軍基地の不要な平和で豊かな沖縄を目指していくという思いは一致するはずです。

今すぐ基地を撤去するのか、段階的なのか、10年後なのか、20年後なのか、その時間軸の違いで、互いを責めたり、無益な争いをする政治から脱し、平和への共通の目標を掲げて、物価高で苦しむ県民のために一致協力、互いに敬意を持ちながら健全に競う、新しい沖縄の政治をつくっていくことが求められているのではないのでしょうか。

沖縄戦で犠牲になられた私たちのウヤファーフジ(ご先祖様)は、今の政治対立を天から見ていたとしたら、どう思われるでしょうか。ウチナーンチュ同士、本来は争う県民ではないと信じています。私たちウチナーンチュは、沖縄の政治家は、学徒隊の犠牲など沖縄戦の実相を正しく日本全体に伝え、二度と戦場にさせない外交安全保障・平和行政を進めなければなりません。日米地位協定改定と米軍による事件事故防止策を講じ、将来、一日でも早く、基地が不要で平和な沖縄を追求する。県民の皆様で心をついに、チャレンジして参りましょう。

沖縄戦を経て、命の灯火を今日まで繋いできたウチナーンチュなら、必ずできると信じています。沖縄にこだわり、沖縄の政治家として、**沖縄から日本の政治をかえていく。国会で、新しい沖縄の風を巻き起こす。沖縄から国を動かす。暮らしの「現場」から政治をかえる。**私おくまりょうを、「沖縄の1議席」として参議院へ送り込んで下さい! 県民の手となり足となり、平和で豊かな沖縄を皆様と共に作ります! ————— 奥間 亮 拝

SNSフォローでおくまを応援!



Instagram



X (旧Twitter)



YouTube



TikTok



facebook



公式LINE



おくまりょう

自民党公認公明党推薦